



【プレスリリース】

報道関係各位

2025年4月2日

国内唯一！ アクアビームとダビンチ SP を保有「前立腺治療センター」
横浜市内初 全国で 11 施設目
前立腺肥大症の最新治療機器「アクアビーム」導入

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院）は、2025年3月11日に横浜市内で初めて前立腺肥大症の最新治療機器「アクアビーム（AquaBeam）」を導入し、この度、初症例を実施し無事成功しました。

これにより当院は「アクアビーム」とロボット支援手術「ダビンチ SP（da Vinci SP）」の両方を採用する国内唯一の医療機関となり、従来の手術法よりもさらに低侵襲で精密な手術を提供できる体制を整えました。

<アクアビームとは>

アクアビームを用いた アクアブレーション治療は、前立腺肥大症（BPH）の治療に対して行われる低侵襲手術です。手術では、前立腺の大きさ・形に応じて作成した治療計画に沿って、ロボットが高圧のウォータージェットを噴射し、前立腺組織を精密に切除します。切除に要する時間は5-10分程度、手術全体にかかる時間は通常1時間前後です。50ml以上の前立腺肥大症の方が治療の対象です。



アクアビームの特長

- ✓ 手術時間の短縮
- ✓ 尿失禁・性機能障害などの術後後遺症が少ない
- ✓ 術後の回復が早く入院期間が短い

<ダビンチ SP との融合による新たな医療の提供>

当院ではロボット支援手術「ダビンチ SP」も導入しており、前立腺がんや泌尿器疾患の治療において、より精緻かつ低侵襲な手術を提供しています。アクアビームとダビンチ SP の両方が揃うのは国内で唯一であり、患者さんの病状に応じて最適な治療法を選択できる体制を整えています。



（次頁につづく）

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：波多野・荒木・吉村

電話：045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6-1

Email: koho@tobu.saiseikai.or.jp



<これからの展望>

手術などの治療を受けるとき、患者さんは身体への負担や治療後の生活に影響が残らないかなどの心配があると思います。

本院が取り組む低侵襲治療は、身体への負担をできる限り少なくすることで、**痛みや苦痛を軽減**するとともに元の生活に**早期に復帰**できることを目標としております。また、低侵襲治療は持病がある方や体力が低下している方の治療に伴う**合併症を減らす**利点があります。

今回導入したアクアビームを用いるアクアブレーション治療は、前立腺肥大症に対する世界で初めてのロボット制御の治療方法です。排尿障害改善効果の最大化と、尿失禁や性機能障害など治療による後遺症の回避を両立した治療計画に沿って、ロボットの精密な制御により短時間で治療が行われます。

従来の治療では、排尿障害は改善するものの一部の患者さんは尿失禁などの後遺症で悩んでおられました。私達は従来治療と同等の症状改善の効果は当然の事ながら、短時間手術による負担軽減と最先端技術による後遺症の低減に注目してアクアブレーション治療を導入しました。

前立腺肥大症治療に対する不安・心配を抱える患者さんに、アクアブレーション治療をお届けできればと思います。



ロボット手術センター長
前立腺治療センター長
泌尿器科部長
石田勝（いしだまさる）

<東部病院「前立腺治療センター」の特色>

「持病があるから手術は難しいといわれた」「入院したくない」「副作用が心配」「通院が大変」など、患者さんによって病状やニーズはそれぞれ異なります。当センターでは、手術支援ロボット「ダビンチ Xi、SP」、ロボット型放射線治療装置「サイバーナイフ」、「密封小線源治療」、そして全自動ロボット手術装置「アクアビーム」といった先端医療を導入していることで、一人ひとりに合わせたオーダーメイドな治療法を選択することが可能です。

全国で、ダビンチは約 600 台、サイバーナイフは約 40 台、アクアビームは 11 台が稼働。密封小線源治療を実施している施設は約 110 ヶ所ありますが、これら 4 つの先端医療をすべて揃えている施設はほとんどありません。

「ダビンチ」は 2012 年の導入以来 1100 名以上、「定位放射線治療」は 2017 年の導入以来 250 名以上、「密封小線源治療」は 2007 年の導入以来 800 名以上の前立腺がん患者さんに使用実績があり、良好な治療成績を得ております。定位放射線治療、密封小線源治療を受ける患者さんには、治療後しばらくしてから発生する直腸後遺症（下血、肛門痛など）の予防策として、space OAR システムも導入しています。

患者さんに最善の医療を提供できるよう、スタッフ一同、自信と誇りを持って治療を行っております。

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・荒木・吉村

電話:045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3 丁目 6-1

Email:koho@tobu.saiseikai.or.jp